１０月　ばら組くらすだより

朝晩と少しひんやりとする日が多くなってきましたが、子どもたちは元気いっぱい体を動かして遊んでいます。そして、運動会という大きな舞台で、ダンスやかけっこ、あおむしごっこなどをかっこよく披露することができ、大きく成長した子どもたちは、年長児のチャレンジ遊びやリレーなどをしながら楽しく過ごしています。１１月には作品展、１２月にはお楽しみ会、おもちつきなどの行事もあり、まだまだ色々なことを楽しんでいけるように保育を進めていきます。

いっぱい遊んでいるよ

保育室では、部屋での好きな遊びの時間には、絵を描いたり、塗り絵をしたり、LaQ・カプラで遊んだり、集まった素材で作品を作ったり、友達と話をしながら楽しむ姿が見られます。LaQ では、決まった形を作って遊ぶよりも「空飛ぶ、車やねん」「２つの竜、ひっつけてん」など、自分のイメージした物を具体的な形として平面や立体でつくることを楽しんでいます。また、手が届かないくらい高く積み上げたカプラが崩れないように、集中しながら椅子を使って更に高く積み重ねることもあり、それぞれの完成したものを自信満々に見せる姿は、微笑ましく嬉しくも感じます。１日を振り返る時間では、１学期よりも、具体的に頑張ったことや楽しかったことを話す子どもが増えて、自分の思いを伝えたいという気持ちの育ちが感じられます。




いもほりごっこ



芋掘りの遠足を楽しみに待っていた子どもたち。早くイモ畑に行きたい様子だったので、おイモを育ててみようと、画用紙や絵の具を使ってイモ畑をつくりました。イモの栽培方法を伝えると「種イモ？イモからイモができるの？！」と少し驚いた様子でした。①画用紙でつくった種イモを貼る→②絵の具で茎を描く→③紙を丸めてイモをつくると、イモの生長に合わせてイモ畑づくりを楽しみました。

明日はいよいよ本物のイモ掘りだと意気揚々としていたにもかかわらず、延期となり残念がっていたばら組さんですが、みんなでつくったばら組イモ畑でイモ掘りをしました。「うんとこしょ」「なかなか抜けないな～」といいながらイモ掘りをして大喜びでした。次は、ばら組イモ畑でイモほりをしている自分をつくりたいと、友達とイモを抜く姿を見せ合いながら「腕も足も曲がってるな～」「足、踏ん張らないとあかんな～」と自分たちの気付いたことを伝え合っていました。自分の体の動き方に興味をもてるきっかけになっていると感じ、画用紙を用意すると、肘や膝を色々な角度に曲げて組み合わせながらつくっていました。「葉っぱにぶら下がったら面白いね」「ここから、引っ張ったらイモ抜けるかな」とばら組イモ畑でもイモ掘りを楽しみました。




天王寺動物園にいってきました

たくさんの動物を間近で見ることができました。水の中を速いスピードで泳ぐペンギンを見ていた時は、泳ぐ向きに首を振りながらじっと見て、「すごいな～」「手（羽）が、伸びてる～」、シロクマの姿が目に入ると、「おった、おった」「先生、上におるで～」と興奮気味でした。アシカの泳ぐ姿に「ペンギンより速いで」、ライオンが２頭並んで寝そべっている姿に、「かっこいい～」「眠たいのかな。お腹いっぱいやねんわ」、３頭のゾウが鼻を上手に使って草を食べている姿を見て、「・・・」言葉にならないくらい釘付けになっていました。１つ１つの感想から、子どもたちが動物に興味・関心をもち、動物の様子を自分なりに、言葉で表現する力が育ってきていると感じられました。つくっていただいたオニギリ弁当も、とっても嬉しそうに食べていましたよ。



